

カレーライスとがめに：家族が好む料理と主婦が得意とする料理からみた
大分県日田・玖珠地域の食生活
大分大教育 安部テル子

目的：食文化という言葉が使われるようになってから久しい。食の社会化が広がり、家庭における食生活の危機が言われるようになったのと同時期であるように思える。味覚は保守的であり、故に食生活は変わりにくいとされながらも、それは着実に変わっている。大分県の中心部に位置し文化圏としては福岡県の影響を多く受けているとされている日田・玖珠地域での食生活がどのように行われているか知ることを目的に調査を行った。

方法：調査は日田市、玖珠町、津江村においてアンケート方式で行った。調査項目は買い置き食品の品目、料理の手作り度、家族が好む料理、主婦が得意とする料理、および実際に作られる料理などである。

結果：家族が好む料理と主婦が得意とする料理とでは、かなりの違いがある。家族が好む料理は、カレーライスが1位である。これに焼き肉、サラダ、煮物が続き、主婦の得意とする料理としては1位であり、福岡およびこの日田市の郷土料理である「がめに」は10位以下に下がる。またカレーライスを得意とする主婦は、家族が好むとする数の4分の1にすぎない。そのほかに家族は好む料理とされるが、主婦はあまり得意とはしない料理は、焼き肉、すき焼き、鍋物等がある。反対に、主婦は得意とするにも関わらず、家族に好まれるとされない料理としては、すし、コロッケ、茶碗蒸し、ぎょうざ、山菜おこわ、などがある。これらの結果をもとに、現代の人々の家庭料理に対する意識や実際の食生活などを考察する。